



講座Ⅰ 「石見に生きる～石見の元気人が話す」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
1	林 千夏 (グラントフ弦楽合奏団・アンサンブルFlauce チェロ奏者)	チェロは紡ぐ～音楽のもたらす縁(えにし)～ 県西部唯一の弦楽合奏団であるグラントフ弦楽合奏団、結成7周年を迎えるフルートとチェロのアンサンブル Flauce など、石見地方での演奏活動は、「ひと・もの・こと」との出会いを紡ぎ、10年目を迎えました。チェロとファゴットの生演奏(約25分)とともに、日々の音楽活動の中で大切にしている思いや願いについてお話しします。	6月6日(土) 13:15～14:45	講義・研究棟 「中講義室3」
2	神 英雄 (安来市加納美術館 館長)	缶コーヒー発明物語～三浦義武の生涯～ 石見の特質を明らかにする石見学の確立を提唱し続けてきた講師が、浜田市三隅町出身の三浦義武の研究に取り組んで10年。戦前にネルドリッップを駆使して「美のコーヒー」を発明し、戦後は缶コーヒーを発明した三浦の波乱万丈の生涯を紹介する一方、我が国初のコーヒーを核にした町づくりの試みについてお話しします。	7月17日(金) 18:15～19:45	
3	益子原 照晶 (NPO法人てごねっと石見理事)	住民主体によるまちづくり～観光資源化の取り組みを事例に～ 住民主体のまちづくりが叫ばれて久しいですが、住民・地域によって取り組みに対する意識レベルの差があったり、短絡的な取り組みで長続きしないものもあります。今回は2014年から、浜田市内にある鉄道遺構(広浜鉄道今福線)を活用して地域活性化を目指す取り組みを例に、住民主体によるまちづくりの課題や方向性について考えます。	9月30日(水) 18:15～19:45	
4	益田商工会議所青年部	地域の宝 萩・石見空港～益田商工会議所青年部による取り組みについて～ 益田市内の若手経営者・後継者で構成される益田商工会議所青年部では、市内に位置する萩・石見空港を、交通網の脆弱な当地域の経済に欠かせない存在と考え、増便を目指した利用促進活動、存在価値をより高める活動を展開してきました。当青年部における活動を振り返るとともに、空港に対する想いについて述べます。	決定次第、 大学ホームページ でお知らせします	
5	安藤 達夫 (匹見ワサビ生産グループ「美屋」)	地域資源としての匹見わさび復活とその意義について 匹見わさび復活に取り組む、その目的と地域における匹見わさびの有効性、可能性について、現在までの取り組みと今後の展開について御紹介します。1ターンしてわさび栽培、加工、営業に奮闘した7年間の取り組みです。	12月2日(水) 18:15～19:45	

講座Ⅱ 「税金から見た日本」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
6	大橋 達郎 (中国財務局検査監理官)	90分 de 日本の財政 急速な高齢化の進展により著しく社会保障関係費用が増加する一方で、歳入の方は昨年消費税率の引き上げが実施されましたが、国の財政は依然として借金(国債発行)に依存した厳しい財政状況が続いています。日本の財政状況を個人の家計に置き換えながら、今後の日本のあるべき姿を皆さんに考えてもらいたいと思います。	5月19日(火) 16:30～18:00	講堂
7	永田 寛幸 (広島国税局総務部長)	税務行政の現状 少子・高齢化やグローバル化が進み、社会保障給付などの増加や経済変動により国の財政がますます厳しくなる中で、税のあり方がその使い途とともに、国民一人一人にとって一層身近で重要な課題となってきています。日本の税制の現状を知っていただくとともに、国税庁の様々な取組について、皆様に理解を深めていただきたいと思います。	6月3日(水) 14:50～16:20	「大講義室1」 講義・研究棟
8	大田 孝治 (独立行政法人国際協力機構 中国国際センター 所長)	税金でなぜ国際協力を行うのか? 政府開発援助の役割 国際化の進む今日、当たり前のように考えられる国際協力について「何故?」ということを変えて考えることは重要ではないでしょうか?国際協力の理念と日本国憲法の関係、地方創生という考えの中での国際協力の役割という視点で、国際協力の意味を考えたいと思います。	6月15日(月) 16:30～18:00	「中講義室2」 講義・研究棟
9	隅田 隆之 (神戸税関 浜田税関支署長)	「税関」その役割～安全・安心な社会を目指して～ 我が国の国際化が進む中で、人や物の交流は著しく増大しており、貿易の第一線にある税関の役割はきわめて重要になっています。輸出入貨物の通関、関税等の徴収、麻薬や覚醒剤、けん銃などの密輸取締りなど、水際で秩序ある貿易の発展に努めている「税関」とは?どんなところか知って、もっと身近に感じてみませんか。	6月24日(水) 14:50～16:20	講義・研究棟 「大講義室1」
10	太田 明秀 (日本年金機構 浜田年金事務所 所長)	年金制度ってなんのためにあるんだろう? 公的年金制度については、さまざまな角度から国会の場やニュース等で取り上げられ議論があるところですが、当講座では、公的年金制度について下記の基本的なご説明を行い、年金制度がなんのためにあるのかをご説明し、年金について一緒に考えてみたいと思います。1. 公的年金制度の仕組みについて 2. 保険料と納付の特例について 3. 年金給付について 4. その他	7月8日(水) 14:50～16:20	

講座Ⅲ 「世界を旅する」

No	講師	講座名	概要	日時	会場
11	董 茜 (浜田市国際交流員)	中国を旅する	各国の国際交流員の方々を講師に迎え、「旅行するならここがオススメ!」というスポットや、旅行のときに使えるちょっとした会話、また、各国の文化・歴史・地理など広範な分野の中から、講師が最も皆さまに伝えたいテーマについてご紹介いたします。	6月10日(水) 10:20～11:50	「中講義室3」 講義・研究棟
12	キンバリー・モーガン (浜田市国際交流員)	イギリスを旅する		7月8日(水) 10:20～11:50	
13	ナタリア・ボルホドエワ (島根県国際交流員)	ロシアを旅する		7月15日(水) 10:20～11:50	
14	ベトナムの国際交流員 (浜田市国際交流員)	ベトナムを旅する		10月7日(水) 10:20～11:50	

講座Ⅳ 「大学へ行こう」

No	講師	講座名及び概要	日時	会場
15	村井 洋 (浜田キャンパス)	今、平和を考える テロリズムが私たちを脅かし、大国の周辺部では紛争が激化、北東アジア地域にも国どおしのぎくしゃくした軋轢が生じている今、私たちはちょうど戦後70年を迎えます。I. カントの『永遠平和のために』をはじめとして平和(戦争)論の名著を手懸かりに平和を考えたいとおもいます。	6月3日(水) 18:15～19:45	「多目的演習室」 メリアセンター2階
16	瓜生 忠久 (浜田キャンパス)	戦後70年 社会の動きとマス・コミ報道～映画・TV・新聞の動向を中心に～ 2015年は【戦後70年】だが、昨今「キナ臭い」傾向が政治・経済・社会・文化の各分野で現出し、マス・コミの姿勢も追隨している感が強い。戦前の忌まわしい事態を二度と招かないためにも、いくつかの事例を紹介しつつ、その実態を注視してみたい。	6月10日(水) 18:15～19:45	講義・研究棟 「中講義室3」
17	木村 秀史 (浜田キャンパス)	ゼロからわかる資産運用入門～賢く財産を守ろう!～ この講座では、投資の未経験者や初心者を対象に、お金の賢い運用方法について基礎の基礎から学びます。みなさんは投資＝ギャンブルだと思っていませんか?それは誤解です。正しく賢い投資は長期にわたって財産を守るための強力な道具になります。株式投資や投資信託などを通じて、投資を行うことの重要性や注意点を見ていきます。	7月1日(水) 18:15～19:45	
18	飯田 泰三 (浜田キャンパス)	旧那賀郡木田村(現浜田市旭町木田)が生んだ二人の傑物 ①佐々田 懋 3年前の公開講座で「石見が生んだ政治家たち」(3回)を講じたときにも、その第1回目で佐々田懋を取り上げた。幕末に尼子氏の末裔として木田の大庄屋の家に生まれ、25歳で島根県会議長となり、10年務めたのち第1回衆議院議員に島根県選出で当選。明治27年からは実業界に転じ、鉄道事業や電気事業で開拓者となった人物である。	7月8日(水) 18:15～19:45	
19	鄭 世桓 (浜田キャンパス)	ことばに関するちょっとした面白い話～似ているようで異なる日本語と韓国語のことばくらべ～ 初級レベルの英語学習者の中で日韓の学習者の英語は、他の国の人では理解できないものでも、日韓の学習者同士は問題なく相互コミュニケーションがとれることが多いようだ。それはなぜだろうか。それには日本語の言語的な性質を理解することによって「あ～なるほど!」になるはず。この講座では日本語の似ている、しかし異なる言語的話をしてみたい。	10月7日(水) 18:15～19:45	
20	久保田 典男 (浜田キャンパス)	企業の経営分析～フレッシュマン・フィールド・セミナーの取組から～ 経営分析とは、収益性・効率性・安全性などの観点から企業の財務諸表を定量的に分析する手法です。本講座では島根県を代表する企業を実際に分析した大学1年生向け必修科目「フレッシュマン・フィールド・セミナー」の実例から、企業の基本的な財務データをを用いて、初心者にもわかるように経営分析の手法を紹介いたします。	10月14日(水) 18:15～19:45	
21	西藤 真一 (浜田キャンパス)	私たちの生活と交通：人を乗せて走る自動車 人を乗せて走る自動車といえば、真っ先に思い浮かべるのはバスやタクシーでしょう。いずれも私たちにとっては身近な乗り物ですが、同じバスにもいくつかの「種類」があります。そのほかにも、お客を乗せて走るためにはたくさんの決まりごとがあります。地域が異なれば、走る車も違う。そんな私たちの生活に根差した乗り物が走るまでを、乗り物好きの方の視点も交えてご紹介します。	10月28日(水) 17:45～19:45	
22	松田 善臣 (浜田キャンパス)	私たちの生活と交通：買い物弱者 日常の買い物や、生活に必要なサービスを受けるのに困難を感じている人々を指す「買い物弱者」。経済産業省の推計では全国に600万人程度いるとされ、今後さらに増加することが予想されています。買い物弱者をなくすためにはどうすればいいのでしょうか。各地で行われている支援策などを概観しながら、一緒に考えてみましょう。		
23	金野 和弘 (浜田キャンパス)	マイナンバー制度ってなんだろう? 今年から本格的に開始される社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)をご存知でしょうか。この講座では、マイナンバー制度の大まかな解説と、今後どのような使い方があり得るか、どのようなことが問題となりうるかについて、受講者の皆さんとともに考えてみようと思います。	11月4日(水) 18:15～19:45	
24	飯田 泰三 (浜田キャンパス)	旧那賀郡木田村(現浜田市旭町木田)が生んだ二人の傑物 ②服部之総 私が50年前、大学で日本政治外交史を学び始めたとき、最も手引きとなったのが服部之総の『明治の政治家たち』(岩波新書)だった。その服部が石見浄土真宗三太寺のひとつ木田正蓮寺の出て、浜田中学出身であると知り、興味を覚えた。『佐々田懋翁伝』の著者でもある服部之総の人と学問について語りたい。	11月11日(水) 18:15～19:45	
25	村井 洋 (浜田キャンパス)	「判断力」はいかが? ビジネスマンは迅速な意思決定を求められ、学校の生徒は知識に加えて「判断すること」を学習目標とし、最良の伴侶を得るためにも「知恵」が必要と迫られる。このように生活のあらゆる場面に働く「判断力」という思考はどのような特徴をもつ精神作用なのでしょうか。古典を繙き、現代心理学の知見からも学びながら考えます。	12月9日(水) 18:15～19:45	「多目的演習室」 メリアセンター2階

※会場は各講座によって異なりますので、ご確認のうえお越しください。